

運営委員会だより

運営委員 須田 章七郎

◇ 「わいわいフォーラム」より

前運営委員の藤原さんの「好きなことが語れる場があるといいな」という発案でできた「わいわいフォーラム」。今年度の役員と企画に関わった人たちの14名が集まり12月16日（金）に行われました。紙面の都合で全員の発言は紹介できませんが、近現代史ゼミに関わる設楽さんの発言の一部を紹介します。

朝日新聞の記事から。元建設業の男性（70歳）「ここ数年の話題は『仕事がない』ばかり。良い悪いは別として、今の大阪に必要なのは新しいことに挑み現状を変えることだ」パート従業員の女性（54歳）「橋下さんはワンマンとの声もあるが、勢いがあり、停滞する大阪を変えてくれそう」

そして同紙の「天声人語」では「(中略)閉塞感と政治不信の世に英雄待望論が湧くのは不思議ではない(以下略)」と書いている。この記事を読んで、かつて授業で使った次の文を重ねてみた。

「大衆へ情熱を込めて語ったのは彼だけでした。私たちは何か新しいことを聞くために、なんでもいいから新しいことを聞く為に集会に出掛けたのです。ドイツ国内の状況は悪化する一方でした。人々の日常生活を支えていたものが根底から無くなり、自殺する人が溢れ、風俗は乱れました。経済状況に絶望していた私たちにはヒトラーの語る新しいドイツは素晴らしいものに思えました。」(当時のナチス党员の手記より)

設楽さんは、橋下氏の手法や石原都政のあり方に危惧を抱いていました。それを受けて、過去の学習指導要領の改悪の度に「愚民化政策」がとられてきたことや、マスメディアのあり方など、いくつか意見が交わされました。

この冊子の名前は「育ちと学び」です。地道だけど、多くの人とさまざまな活動を通していろいろなことを学んでいくことが重要なのだと、この問題提起にあたり改めて感じました。

今後の主な予定

2月 3日（金） 13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
2月 4日（土） 13時30分～	子どもとメディア研究部会学習会（教育会館1F） 「私のNIE」大山仁さん（吉井高校・国語科教師）
2月11日（土） 9時30分～	教育のつどい（群馬県青少年会館）
2月17日（金） 13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
2月24日（金） 13時～	教育ネットワークぐんま事務局会議（フォーラム）
3月 2日（金） 13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
3月 3日（土） 13時～	子どもとメディア研究部会
3月13日（火） 12時～	教育相談部会
3月16日（金） 13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
3月24日（土） 13時30分～	近現代史ゼミと歴教協との共同企画「群馬の歴史を考 える会」：萩原慧さんの「柏木義円について」（仮題） 前橋市総合福祉会館
3月25日（日） 9時30分～	高生研春季ゼミ 臨床心理士を招いての事例研究ほか 前橋市総合福祉会館

育ちと学び No. 11 発行：ぐんま教育文化フォーラム〈増刷版〉

〒371-0026

前橋市大手町3-1-10

教育会館3F

(TEL・FAX)

027-235-8876

(IP電話) 050-3419-3803

(E-mail) g-kyoken@nifty.com

(HP) <http://homepage2.nifty.com/g-kyoken>